宇久中だより2018

佐世保市立宇久中学校　学校通信
（平成３１年３月３号）
文責　校長　田雜　健
平成 31 年 3 月 15 日(金)発行

学校教育目標　：ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像　：素直で心豊かな生徒 ・ 自ら考え、主体的に学ぶ生徒 ・ 強くたくましい生徒
宇久中生徒の５励行　：心のこもったあいさつをする　授業に集中する　生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う　清掃活動に力を入れる

巣立ちの時に



１４日（木）、天候にも恵まれ本校第７２回卒業証書授与式を開催することができました。多くの方々に見守っていただく中、６名の卒業生が本校を巣立っていきました。

宇久高校に進学した人もいるので、今後一緒に活動する機会も多いのでしょうが、やはり「上級生とは言え中学生どうし」で行動することと、「中学生と高校生」として行動を共にすることには違いがあります。けじめをつけるべきところは、きちんとけじめをつけて先輩方に接するようにしましょう。「親しき仲にも礼儀あり」です。

さて、進級を控え、今の１・２年生には今後、自分たちが担う立場や果たすべき役割を考えてほしいと思います。

１年生は、新２年生「中堅学年」として、新３年生と新１年生をつなぐことが期待されます。世話になった分を、後輩に返していきましょう。

２年生は、新３年生「最上級生」として、「宇久中の顔」となります。先輩から受け継いだことを、しっかり実践してほしいと思います。

平成３１年度は３１年度として、各学年の良さを存分に発揮してほしい。そして、その１年の間に新たな自分、新たな級友の姿を発見してほしい。自分の夢・憧れを「志」へと高めてほしい。

「ほしい」「ほしい」になってしまいましたが、今年度の終わりにあたって、次年度への期待を述べてみました。

日々の積み重ね

卒業式前日の１３日（水）、全体での式練習が終了した後に、表彰伝達を行いました。代表の人のみ登壇というケースもありましたが、逆に考えればそれだけ多くの人が「努力の賜物」として表彰を受けたということです。学校としてこれほどうれしいことはありません。



校外の各種大会での成果、校内で年間を通して取り組んでいる「昇級テスト」で頑張った人、家庭学習で頑張った人の表彰を行いました。

また、学習内容がどれだけ身に付いたかを図る指標として、学校外の検定制度を利用することがありますが、今回は漢字検定試験（いわゆる漢検）や、長崎県教委主催のスペリングコンテストなどで多くの人に賞状を手渡すことができました。



さらに、中学校３年間、小中学校９年間皆勤の表彰も行いました。

普段から地道に積み重ねている努力の成果が現れて本当によかったです。努力は必ず力となって返ってきます。「努力に勝る天才」はいないのです。

１月～３月の指針
将来の自分を見据える　―志を新たに―
○体験授業、入試、卒業式、修了式　など

宇久中学校
第７２回卒業証書授与式

１４日（木）、第７２回卒業証書授与式を挙行しました。風の強い日が続いたので、いささか心配していましたが、春を感じさせる暖かな日差しのもと、６名の巣立ちのときを迎えることができました。

３年生は登校後、在校生が飾りつけた教室で、なごやかな時間を過ごしていました。



９時５７分から**【卒業生入場】**、予定通り１０時に**【開式】**し、**【国歌・市歌斉唱】**の後、６名の卒業生に**【卒業証書授与】**を行いました。一人一人が緊張の中にも清々しい表情で証書を受け、これまで、そしてこれからに思いを馳せているように感じられました。続いて**【校長式辞】**では、ご来賓の皆様に感謝申し上げるとともに、保護者の皆様に１５年間の子育てをおねぎらい申し上げました。卒業生に対しては、「宇久中の顔」として過ごした今年度の活躍を振り返り、一人一人が臆することなく一歩を踏み出してほしいと話をいたしました。**【市教委告辞】**では、市教委代表として宇久地区公民館川口館長様よりお話をいただきました。伝統を継承するだけでなく新しい文化を創造するために、「自らの可能性を信じてほしい」「他者と共に歩める人であってほしい」との２点を中心とした内容でした。また、市教委からの記念品として証書用の筒を頂戴しました。さらに、多くのご来賓を代表して、本校ＰＴＡ会長　狭間一喜様より**【祝辞】**を賜りました。









「一人では出来ないことでも、周りの人の力を借りれば乗り越えることができる。」そして「焦らず怠らず希望を持って一歩一歩努力し前に進んでほしい」とのお話をいただきました。なお、ＰＴＡからのお祝いとして印鑑を頂戴しました。

続いて、大塚誠也君が登壇し在校生を代表して**【送辞】**を述べました。最上級生として、常に先頭に立ち、行事や部活動で活躍を見せてくれた卒業生。その存在の大きさを感じ常に目標としてきたことを語り、卒業生を送るとともに、これから自分たちが伝統を受け継ぎ、さらに宇久中を発展させていく決意を述べました。その後、生徒全員で「手のひらをかざして」を合唱しました。



次に、上村盛将君が卒業生を代表して**【答辞】**を述べました。地域の方々と保護者の方々へ感謝を申し上げ、全力で頑張ってきた中学校３年間の思い出を語りました。後輩に宇久中を託し、「立ちはだかる壁も必ず乗り越える」と強い決意を示して卒業生の最後のメッセージとしてくれました。「仰げば尊し」「旅立ちの日に」の２曲を全生徒で合唱しました。学び舎を去る卒業生の思いのこもった歌声に涙しました。

最後に参加者全員で**【校歌斉唱】**し、**【閉式】**いたしました。



多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、６名の卒業生の門出を祝うすばらしい式になりました。

本当にありがとうございました。

卒業生に縁のある方々から多数の祝電やお花を頂戴いたしました。お心遣い誠にありがとうございました。